



株主通信

第63期 中間報告書 2024.1.1 ▶ 2024.6.30

株式会社 ルックホールディングス

証券コード：8029

TO OUR SHAREHOLDERS 株主の皆様へ

ごあいさつ

株主の皆様におかれましては、平素は格別のご支援を賜り、心より厚く御礼申し上げます。ここに、当社グループの第63期第2四半期(2024年1月1日から2024年6月30日まで)における事業の概況につきまして、ご報告申し上げます。

今後も、当社グループは「お客さま第一主義」の基本理念のもと、持続的な成長と安定的な収益を実現し、更なる企業価値向上を図ってまいります。株主の皆様におかれましては、引き続きご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

代表取締役社長

夕田和洋

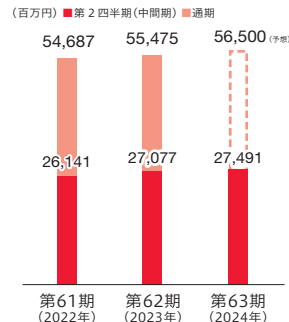
当第2四半期(中間期)実績

売上高	営業利益
274億91百万円	9億72百万円
前年同期比1.5%増	前年同期比29.5%減
経常利益	親会社株主に帰属する中間純利益
12億22百万円	7億7百万円
前年同期比32.4%減	前年同期比38.7%減

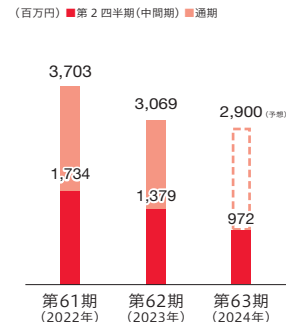
第63期(2024年)通期予想

売上高	営業利益
565億円	29億円
前年同期比1.8%増	前年同期比5.5%減
経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益
31億円	22億円
前年同期比13.4%減	前年同期比10.5%減

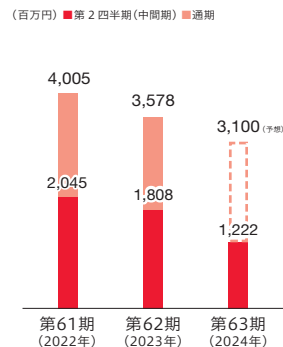
●売上高



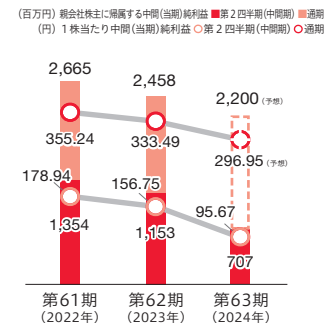
●営業利益



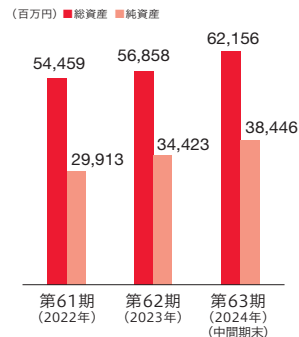
●経常利益



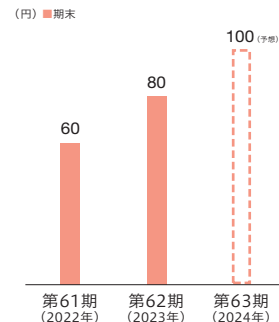
●親会社株主に帰属する中間(当期)純利益 / 1株当たり中間(当期)純利益



●総資産／純資産



●1株当たり配当金



第63期第2四半期（中間期）の業績について

当中間連結会計期間におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善等により景気は緩やかな回復基調で推移いたしました。一方、円安の進行や原材料価格・エネルギーコストの上昇に伴う生活必需品の値上げが継続しており、個人消費に足踏みが見られることに加え、欧米における金融引き締めによる世界経済の先行き懸念、地政学的リスクの長期化など先行きは依然として不透明な状況が続いております。

当アパレル・ファッション業界におきましては、生活防衛意識の更なる高まりによる個人消費の減速が懸念されるものの、円安を背景としたインバウンド需要が拡大するなど、総じて回復基調で推移いたしました。

このような状況の中、当社グループは、2024年を初年度とする中期経営計画(2024年～2028年)を策定、「収益基盤の更なる拡大」、「資本政策の充実化」、「ESG戦略の強化」に着手し、安定的な利益構造の確立に向けた事業戦略に取り組んでおります。安定した事業基盤の構築として、主力ブランドの新規出店やブランド価値向上を目的としたイベントの実施、EC事業におけるお客さま満足度の追求を目的とした施策を推し進めてまいりました。

その結果、当社グループの当中間連結会計期間の売上高は274億9千1百万円(前年同期比1.5%増)、営業利益は9億7千2百万円(前年同期比29.5%減)、経常利益は12億2千2百万円(前年同期比32.4%減)、親会社株主に帰属する中間純利益は7億7百万円(前年同期比38.7%減)となりました。

※売上高および売上高構成比は、セグメント間の取引消去前の数値でございます。

アパレル関連事業



「日本」につきましては、年初の主要インポートブランドにおける価格改定を前にした前期末の駆け込み需要の反動やクリアランスセールが苦戦し厳しいスタートとなりましたが、主力ブランドの「マリメッコ」や「A.P.C.」は好調に推移いたしました。「マリメッコ」においては、ユニッコ柄60周年記念商品や日本限定商品の販売が好調に推移し、店頭及びECサイトの売上が拡大いたしました。また、ユニッコ柄誕生60周年を記念した日本初のランウェイショーの開催やポップアップイベント等を実施し、ブランド価値向上に積極的に取り組んでまいりました。「A.P.C.」においては、半期を通じてインバウンド需要が拡大したことに加え、新規出店やコラボレーション商品の販売が好調に推移したことにより、売上が拡大いたしました。EC事業においても、「マリメッコ」のファッションショーのイベントと連動したライブコマース配信を実施するなど新たな顧客体験を創出し、また「イル ビゾンテ」においてEC限定商品を販売するなどの施策によって売上が堅調に推移いたしました。しかしながら、専門店からの受注減による卸売販売が減少した結果、当中間連結会計期間の売上高は121億5千8百万円(前年同期比1.4%増)、営業利益は8億7千7百万円(前年同期比8.3%減)となりました。

「韓国」につきましては、韓国経済において景気不振の緩和傾向は引き続き見られるものの、生活必需品の物価上昇に伴い、依然として内需の消費動向は低調な推移となっております。株式会社アイディールック、株式会社アイディージョイにおきましては、百貨店インショップの集客・売上高ともに引き

続き減少傾向が続いているものの、アウトレットでのセール販売や、自社ECサイト「I.D.LOOKモール」におきまして動画配信等の販促施策を強化するなどした結果、オンラインサイトでの売上が堅調に推移いたしました。この結果、当中間連結会計期間の売上高は143億4千5百万円(前年同期比4.0%増)となりましたが、セール販売比率の上昇に伴い粗利益率が低下したことなどにより、営業利益は5億6千5百万円(前年同期比26.1%減)となりました。

「欧州」につきましては、主にイタリアの直営店が、アジアや米国からの観光客の増加などにより順調に推移いたしました。一方、主力の卸売事業においては地政学的リスクが長期化している中東地域や欧州域内の受注額が減少した結果、売上が減少いたしました。その結果、当中間連結会計期間の売上高は17億1千3百万円(前年同期比20.3%減)、営業損失は1億4千3百万円(前年同期は1千3百万円の営業利益)となりました。

「その他海外」(米国)につきましては、「イル ビゾンテ」の小売事業は堅調に推移した一方、営業費用が増加するなどした結果、当中間連結会計期間の売上高は1億7千9百万円(前年同期比12.5%増)、営業損失は6千1百万円(前年同期は3千6百万円の営業損失)となりました。

これらの結果、アパレル関連事業の当中間連結会計期間の売上高は283億9千6百万円(前年同期比1.1%増)、営業利益は12億3千8百万円(前年同期比27.1%減)となりました。

生産及びOEM事業

「生産及びOEM事業」につきましては、株式会社ルックモードにおいて、グループ内の売上高が減少した一方、外部受注が増加した結果、当中間連結会計期間の売上高は11億8千3百万円(前年同期比8.5%増)となりましたが、製造費用等が増加した結果、営業損失は2百万円(前年同期は2千9百万円の営業利益)となりました。

売上高
構成比
3.9%

物流事業

「物流事業」につきましては、株式会社エル・ロジスティクスにおいて、グループ内への売上高が減少した結果、当中間連結会計期間の売上高は5億6千4百万円(前年同期比4.6%減)、営業利益は1千万円(前年同期比43.1%減)となりました。

売上高
構成比
1.9%

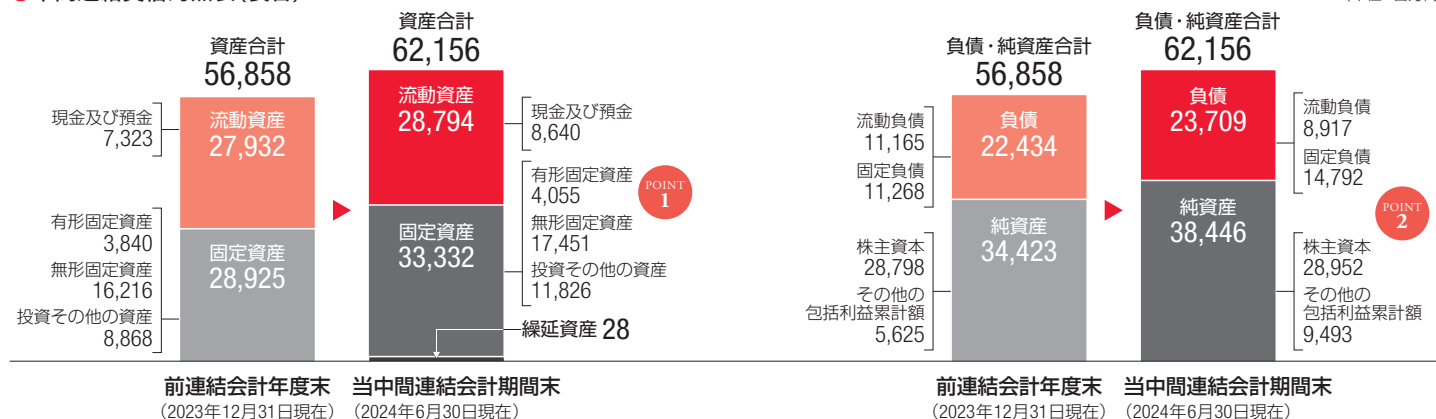
通期の見通しについて

2024年12月期の連結業績予想につきましては、国内では引き続きライフスタイルブランドの新規出店を下期も推し進めることで、期初計画通りの推移となる見込みです。海外事業におきましては、欧州における卸売販売の減少や韓国でのセール販売比率の上昇が引き続き見込まれるため、売上高は565億円、営業利益は29億円、経常利益は31億円、親会社株主に帰属する当期純利益は22億円を予想しております。

FINANCIAL STATEMENTS 中間連結財務諸表

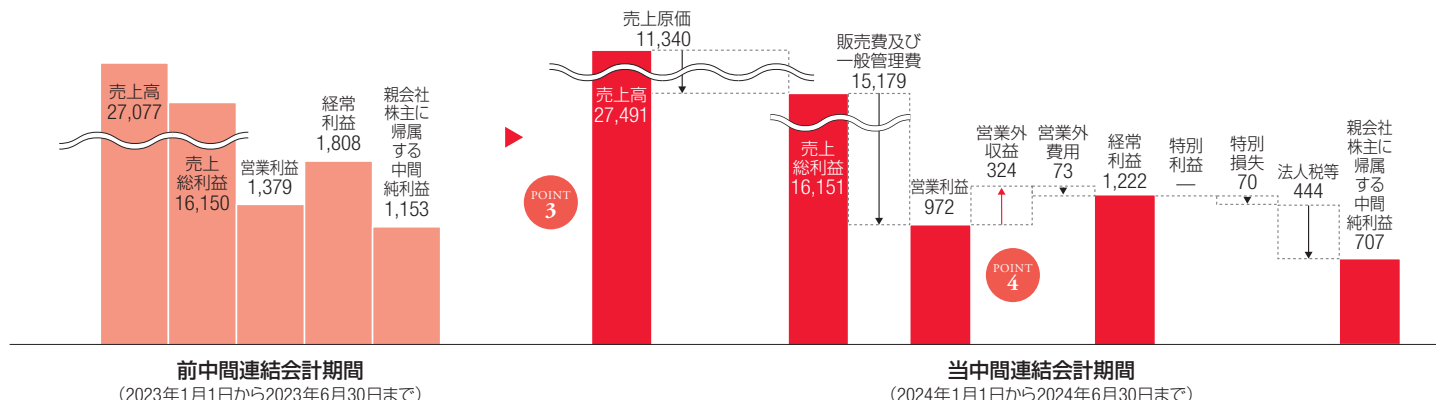
● 中間連結貸借対照表(要旨)

(単位: 百万円)



● 中間連結損益計算書(要旨)

(単位: 百万円)



POINT 1 固定資産
保有株式の時価の上昇などにより投資有価証券が増加したほか、円安による為替レートの変動に伴いマーケティング関連資産が増加したことなどにより、前期末に比べ44億7百万円増加しました。

POINT 2 純資産
投資有価証券の時価増加や円安に伴う為替換算調整勘定の増加などにより、その他の包括利益累計額が増加したことなどにより、前期末に比べ40億22百万円増加しました。

POINT 3 売上高
卸売事業の売上高は減少しましたが、リアル店舗、EC事業の売上高がともに堅調に推移した結果、前年同期に比べ4億1千4百万円の増加となりました。

POINT 4 営業利益
主に韓国事業のセール販売の増加に伴う売上総利益率の低減や、欧州で主力の卸売事業において受注が減少した影響で営業損失となったことなどにより、前年同期に比べ4億7百万円減少しました。

CORPORATE DATA …… 会社概要

会社の概要

2024年6月30日現在

商 号	株式会社ルックホールディングス
設 立	1962年10月29日(登記上は1944年3月20日)
資 本 金	64億4,735万円
主要な事業内容	グループ会社の経営管理等
従 業 員 数	974名(連結)
主要取引銀行	三井住友銀行 三菱UFJ銀行
本 店	東京都港区赤坂8丁目5番30号

主要グループ会社

2024年6月30日現在

アパレル関連事業	
日本	株式会社ルック A.P.C.Japan株式会社
韓国	株式会社アイディールック 株式会社アイディージュイ
欧州及び その他海外	Il Bisonte S.p.A.
生産及びOEM事業	株式会社ルックモード
物 流 事 業	株式会社エル・ロジスティクス

役員構成

2024年6月30日現在

代表取締役社長	多田 和洋	常 勤 監 査 役	宇野澤博文
専 務 取 締 役	澁谷 治男	常 勤 監 査 役	水野 信之
常 務 取 締 役	斉藤 正明	社 外 監 査 役	服部 滋多
社 外 取 締 役	井上 和則	社 外 監 査 役	森居 達郎
社 外 取 締 役	秋葉 絢子		

- (注) 1. 取締役 井上和則および秋葉絢子の両氏は、社外取締役であります。
 2. 監査役 服部滋多および森居達郎の両氏は、社外監査役であります。
 3. すべての社外取締役および社外監査役を株式会社東京証券取引所の定める独立役員として指定しています。

STOCK INFORMATION …… 株式状況

株式情報

2024年6月30日現在

■発行可能株式総数	24,000,000株
■発行済株式総数	7,772,113株
■株主数	6,297名

株主メモ

事 業 年 度	毎年1月1日から12月31日まで
定 時 株 主 総 会	毎年3月開催
基 準 日	定時株主総会 毎年12月31日 期末配当金 毎年12月31日 中間配当金 毎年6月30日 そのほか必要があるときは、 あらかじめ公告して定めた日

【株式に関する住所変更等のお届出およびご照会について】

証券会社に口座を開設されている株主様は、住所変更等のお届出およびご照会は、口座のある証券会社宛にお願いいたします。証券会社に口座を開設されていない株主様は、下記の電話照会先にご連絡ください。

株主名簿管理人 および特別口座 の口座管理機関	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
株主名簿管理人 事 務 取 扱 場 所 (郵便物送付先)	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部 〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
(電 話 照 会 先)	☎ 0120-782-031
(ホームページURL)	https://www.smtb.jp/personal/procedure/agency/
公 告 の 方 法	当社のホームページに掲載します。 https://www.look-holdings.jp/ ただし、事故その他のやむを得ない事由によって 電子公告をすることができない場合は、日本経済 新聞に掲載します。



この冊子は環境保全のため、植物油インキとFSC® 認証紙を使用しています。

株主様アンケートご協力をお願い



ネットで アンケート

Provided by TAKARA Printing

株主の皆様からのご意見・ご要望を今後の活動の参考とさせていただくため、WEBアンケートを実施いたします。お手数ではございますが、ご協力をお願いいたします。

【所要時間5分程度】

2024年10月18日(金)締切

特典

ご回答いただいた方の中から抽選で、
200名様に「**QUOカード(500円分)**」
を進呈いたします。当選者の発表は商品の発送をもって代えさせていただきます。
(2024年11月下旬発送予定)

アクセス方法



パソコンから

下記のURLからアクセスください。



スマートフォン・携帯電話から

右のQRコードから直接アンケート画面へ
アクセスいただけます。

※機種により使用できない場合がございます。

【個人情報の取り扱いに関して】

本アンケートにより得られた個人情報については、当社グループの商品・サービス・イベントに関するご案内、株主権行使や株式取引に関するご案内、その他株主様向けの広報活動充実のために使用させていただく場合がございます。その他、個人情報に関する取扱いに関する詳細は宝印刷株式会社の「個人情報の取り扱い」(<https://www.takara-print.co.jp/privacy/>)のとおりです。

【アンケートに関するお問い合わせ先】

kabu@takara-print.co.jp

平日17時以降、ならびに土、日、祝日及び年末年始等の休業日中のお問い合わせに関しては翌営業日の回答になります。

株式会社 ルックホールディングス

〒107-0052 東京都港区赤坂8丁目5番30号